

3月11～17日は日光市男女共同参画週間です!!

市は、平成20年3月15日に「男女共同参画都市宣言」を行い、男女が共に参画できる社会づくりに向けてさまざまな取り組みを進めています。この宣言日に合わせ、毎年3月に「日光市男女共同参画週間」を設けており、今年は3月11日(月)～17日(日)となります。

男女が共に職場で、地域で、家庭でそれぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、皆さん一人一人の取り組みが必要です。

この機会に「男女共同参画」について改めて考えてみませんか。

くわしくは 人権・男女共同参画課 男女共同参画推進係 ☎21-5148



平成30年度 コミュニティ助成事業の 実績をお知らせします

市は、自治会や自主防災会など、地域コミュニティの活性化に向けて、コミュニティ助成事業をはじめとしたさまざまな支援を行っています。皆さんが暮らすそれぞれのまちを、より一層住みやすく、安全で安心できるまちにするためには、地域の絆が大きな力になります。コミュニティ活動に積極的に参画し、地域の元気アップを図りましょう!

コミュニティ助成事業とは

一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、地域コミュニティ活動の充実・強化による地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、コミュニティ活動に必要な備品などの整備に対して助成を行う事業です。

平成30年度の整備状況

市は地域防災力の向上のため、この事業を活用し、上栗山自主防災会をはじめ、若間、野門、川俣、川俣温泉、湯西川上、湯西川温泉今石、湯西川温泉湯平、湯西川下地区、西川の10の自主防災会に対し、テントや小電力トランシーバー、発電機、ガソリン携行缶などの防災資機材を整備しました。

また、豊岡地区の12の自治会(大桑町・川室・大渡・町谷・轟・芹沼・豊田・倉ヶ崎・小百・原宿・佐下部・栗原)が使用できるように、ノートパソコンや石油ストーブ、テレビおよびテレビ台、ガステーブルなどの備品を整備しました。



ノートパソコン



ガソリン携行缶



小電カトランシーバー



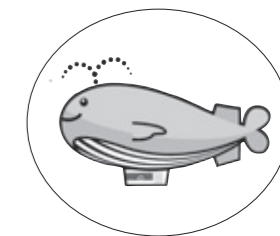
ガステーブル



テレビおよびテレビ台



石油ストーブ



世界における日本の順位

平成30年(2018年)の各国の男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数(※)の日本の順位は、149か国中110位で、前年に比べて4つ順位が上昇しました(表1参照)。

労働参加率の男女比や同一労働における賃金の男女格差などの改善により、経済分野の男女平等の値は上昇していますが、それでも政治分野と並んで経済分野の男女格差は、日本の順位に影響を与えていると考えられています。

日光市の現状

市は、各種審議会・委員会などへの女性登用促進基準を定めるなど、政策・方針の決定過程において男女双方の意見を反映させるための取り組みを、全庁的に進めてきました。

その結果、審議会などに占める女性割合は、県内市町で一番高い数値となっております(現状は表2参照)。男女が、社会のあらゆる分野に主体的に参画していくためには、社会制度や慣行について見直しを進めると共に、男女共同参画に関

表1:2018年ジェンダーギャップ指数

順位	国名	値
1	アイスランド	0.858
2	ノルウェー	0.835
3	スウェーデン	0.822
4	フィンランド	0.821
5	ニカラグア	0.809
6	ルワンダ	0.804
7	ニュージーランド	0.801
8	フィリピン	0.799
...
12	フランス	0.779
13	デンマーク	0.778
14	ドイツ	0.776
15	イギリス	0.774
...
51	アメリカ	0.720
...
103	中国	0.673
...
110	日本	0.662
...
115	韓国	0.657

表2:平成30年日光市・栃木県・国の現状比較

項目	日光市	栃木県	国
審議会などに占める女性割合(市県:地方自治法第202条の3に該当する付属機関)	39.8% (30%以上)	36.7% (33.3%、さらに40%以上を目指す)	37.6% (40%以上60%以下)
議会議員に占める女性の割合	10.7%	12.5%	衆議院:10.1% 参議院:20.7%
自治会長に占める女性割合	0.4% (10%)	-	-

※()は平成32年度における国の目標値

広報紙「はーとふる日光」第26号を発行します

する認識を深めることが重要になります。

「はーとふる日光」は、男女共同参画の理解と意識の

啓発のため発行し、市内の全世帯と事業所などに配布しています。「女性活躍や働き方改革などの国が進めている施策」などから市民編集委員がテーマを選び、男女共同参画意識の向上を目指して取材や編集を行っています。

2月25日発行の「はーとふる日光」26号は、世代の異なる夫妻へのインタビューや地域で活躍する人・輝いている人が登場しています。

「はーとふる日光」は、各行政センターや地区センター・出張所などに置いてある他、市ホームページにバックナンバーを含めて掲載しています。



ぜひお読みください!

くわしくは 地域振興課 市民協働推進係 ☎21-5147